

発展 「冷戦」後の世界とその課題	学習指導要領の「内容」の(5)のクに示す内容である「高度経済成長以降の我が国の動きを世界の動きと関連させてとらえさせ」を学習指導要領に示していない内容として扱っており、不適切である。
東ヨーロッパでは1992年に複数の民族で構成されていたユーゴスラビアが、…コソボ地方やマケドニアでも同様に国内に住んでいる複数の民族がはげしい対立をくり返しています。	旧ユーゴスラビア情勢について、不正確である。
ソ連軍の撤退後はイスラーム原理主義組織が支配を拡大し、政権をえきました。2001年9月、この組織は民間の旅客機をハイジャックし、…数千人の犠牲者を出すテロ事件がおこりました。	アフガニスタンの政権を握った組織がアメリカの同時多発テロ事件を起こしたように誤解するおそれのある表現である。
2003年には、イラクが大量破壊兵器の開発をすすめたり、イスラーム原理主義勢力を支援しているとして、アメリカ、イギリス連合軍がイラクを侵攻し、フセイン政権を崩壊させました。	イラク戦争について誤解するおそれのある表現である。

(「発展 冷戦後の世界とその課題 21世紀の世界」は、「深める歴史12 冷戦後の世界とその課題 21世紀の世界」というテーマ学習として、該当箇所におく。
箇所番号50・51・52については、箇所番号49の修正とあわせて示す。)



「冷戦」後の世界とその課題

21世紀の世界

国家の再編成

1989年、ソ連の影響を強く受けていた東ヨーロッパ諸国の改革がすすみ、1991年にソ連が解体すると、ソ連邦を構成していた国々には、おもな民族を中心に15の国家に分かれました。このうちロシア・ウクライナ・カザフスタンなど12か国は独立国家共同体(CIS)を構成しました。しかし、いまでもロシア西部のチェチェンでは、独立を主張する人びととこれを認めないロシア政府とのあいだで紛争がおきています。

東ヨーロッパでは1992年に複数の民族で構成されていたユーゴスラビアが、スロベニア・クロアチアなど5つの国家に分かれて独立しました。これは主要な民族がそれぞれの国家をつくって独立したためです。しかし、おなじユーゴスラビアから独立したボスニア・ヘルツェゴビナでは、セルビア人とクロアチア人がはげしく対立するなど内戦がたびたびおきました。また、コソボ地方やマケドニアでも同様に国内に住んでいる複数の民族がはげしい対立をくり返しています。



チェチェン独立運動 ロシア連邦内のチェチェン自治共和国は、1991年以来、ロシアからの独立をもちめています。(2000年、チェチェン南部のロシア軍兵士)

ロシアのチェチェンや、ボスニア・ヘルツェゴビナなどの紛争の結果、多くの人びとが国境を接するほかの国やけわしい山岳地帯に避難するようになりました。「難民」とよばれるこれらの人びとの保護は、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) が中心となつてすすめています。

西アジアの紛争

パレスチナをめぐるイスラエルとアラブ諸国との対立は、解決への道が見えず、いまでも大きな課題となっています。

イランでは、1979年に国王を追放して、宗教指導者ホメイニを中心としたイラン・イスラーム共和国がつけられました。この国は、イスラーム原理主義を国家の基本とし、アメリカやヨーロッパ諸国と対立しています。

アフガニスタンは1979年から約10年間にわたってかつてのソ連が軍事支配をしました。このあいだにイスラーム原理主義が力を強めました。ソ連軍の撤退後はイスラーム原理主義組織が支配を拡大し、政権をえしました。2001年9月、この組織は民間の旅客機をハイジャックし、アメリカのニューヨークの超高層商業ビルやワシントンの国防総省などにつっこみ、数千人の犠牲者を出すテロ事件がおこりました。アメリカは国際的なテロ組織の発行としてとらえ、このイスラーム原理主義組織の根拠地アフガニスタンを攻撃し、政権を崩壊させました。

イラクでは、アラブの統一と社会主義を目標にしたフセインが政権をえて、1980年に

「冷戦」後の世界とその課題

21世紀の世界

◆国家の再編成

1989年、ソ連の影響を強く受けていた東ヨーロッパ諸国の改革がすすみ、1991年にソ連が解体すると、ソ連邦を構成していた国々には、おもな民族を中心にロシアなど15の国家に分かれました。しかし、いまでもロシア西部のチェチェンでは、独立を主張する人びととこれを認めないロシア政府とのあいだで紛争がおきています。

東ヨーロッパ諸国のなかでもユーゴスラビアでは、1991年にスロベニア、クロアチア、マケドニア、1992年にボスニア・ヘルツェゴビナが独立をしました。セルビアとモンテネグロは、これまでと同じように連邦国家を構成し、ユーゴスラビア連邦共和国をへて、2003年にセルビア・モンテネグロとなりました。これは主要な民族がそれぞれの国家をつくり、独立をしたためです。

しかし、ボスニア・ヘルツェゴビナでは、民族と宗教の違いから1992年には内戦にいたりました。1995年に和平会議がおこなわれ、現在では半独立的な二つの政治勢力で構成されるひとつの国家となっています。マケドニアは、マケドニア人と少数民族のアルバニア人からなる国家として独立しました。2001年ころからアルバニア人の武装組織が独立を



チェチェン独立運動 ロシア連邦内のチェチェン自治共和国は、1991年以来、ロシアからの独立をもちめています。(2000年、チェチェン南部のロシア軍兵士)

◆国家の再編成

求をつよめて内戦となりましたが、NATOの調停で和平交渉がおこなわれ、今は安定をとりもどしています。

このような紛争の結果、多くの人びとが国境を接するほかの国やけわしい山岳地帯に避難するようになりました。「難民」とよばれるこれらの人びとの保護は、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) が中心となつてすすめています。

◆西アジアの紛争

イランでは、1979年に国王を追放して、宗教指導者を中心としたイラン・イスラーム共和国がつけられました。この国は、イスラーム原理主義を国家の基本とし、アメリカやヨーロッパ諸国と対立しています。

アフガニスタンは1979年から約10年間にわたってソ連が軍事的に支配しました。この間にイスラーム原理主義武装勢力のタリバーンが勢力を伸ばし、ソ連の撤退後は政権をにぎりました。2001年9月、このタリバーンの保護下にあった過激組織アルカイダの関係者が民間の旅客機をハイジャックし、アメリカのニューヨークの超高層ビルやワシントンの国防総省などにつっこみ、数千人の犠牲者を出すテロ事件を起こしました。そこでアメリカは、このアルカイダの根拠地アフガニスタンを攻撃し、タリバーン政権を崩壊させました。

イラクでは、アラブの統一と社会主義を目標にしたフセインが政権を得て、1980年に





現代の世界 1990年代以降の独立国

は隣国のイランを侵略し、1991年にはクウェートへ侵攻しました。これに対してアメリカを中心とした多国軍がイラクを攻撃しました(湾岸戦争)。また、2003年には、イラクが大量破壊兵器の開発をすすめたり、イスラーム原理主義勢力を支援しているとして、アメリカ、イギリス連合軍がイラクを侵攻し、フセイン政権を崩壊させました。

イスラーム原理主義はエジプトやスーダン、パレスチナ、アルジェリア、中国新疆ウイグル自治区、ロシアなど世界にひろがり、影響をおよぼしています。

EUの拡大

1957年にむすばれたローマ条約により、EUの前身であるEEC(欧州経済共同体)が加盟6か国で発足しました。その後、EC(欧州共同体)となり、イギリス、アイルランド、デンマーク、ギリシャ、スペイン、ポルトガルが加盟し、1986年には12か国となりました。1987年に加盟国の主権を一部制限することがあっても統合の結果、ええところの大きいことを確認しました。経済的な統合だけでなく、民族の共生のために政治的な統合を目的とする組織になったのです。1991年に

マーストリヒト条約が調印されて、EU(欧州連合)と改称され、通貨統合を大きな目標としました。1995年には、フィンランド、スウェーデン、オーストリアが加盟しました。1999年、共通通貨としてユーロが発足し、2002年1月には、イギリス・デンマーク・スウェーデンをのぞく12か国の市場にユーロの流通がはじまりました。同年7月にはそれぞれの国の自国の通貨が回収され、流通が停止されたため、通貨統合は現実のものとなっています。

EUの東方拡大 2004年5月にはチェコ、ポーランド、エストニアなどの10か国が加盟。また07年にはさらに東方のブルガリアとルーマニアが加盟のみです。こうしてEUは総人口4億5千万、GDPは9.2兆ユーロとなり世界最大の経済圏となります。



は隣国のイランを侵略し、1991年にはクウェートへ侵攻しました。これに対してアメリカを中心とした多国軍がイラクを攻撃しました(湾岸戦争)。また2003年、アメリカとイギリスは、イラクが大量破壊兵器を保有し、アルカイダの影響を受けたテロリストを支援しているとして、イラクを攻撃しました。この軍事行動に対して、フランス、ドイツ、ロシアは反対をしました。アメリカ・イギリス連合軍の攻撃により、フセイン政権は崩壊しましたが、大量破壊兵器を発見することはできませんでした。

アルカイダのようなイスラーム原理主義の過激組織がおこしたとされるテロ事件は、エジプト、パレスチナ、インドネシア、フィリピン、ロシアなど、世界各地にひろがり、国際政治に大きな影響をおよぼしています。

◆EUの拡大

1957年にむすばれたローマ条約により、EUの前身であるEEC(欧州経済共同体)が加盟6か国で発足しました。その後、EC(欧州共同体)となり、イギリス、アイルランド、デンマーク、ギリシャ、スペイン、ポルトガルが加盟し、1986年には12か国となりました。

た。1987年には、経済だけでなく政治的な統合を目的とする組織になったのです。1993年にマーストリヒト条約が発効し、EU(欧州連合)が成立して、1995年には、フィンランド、スウェーデン、オーストリアが加盟しました。2002年1月には、イギリス・デンマーク・スウェーデンをのぞく12か国の市場に共通通貨ユーロの流通がはじまり、2月いっぱいまででそれぞれ自国の通貨が回収されたため、通貨統合は現実のものとなりました。

2004年には東欧諸国など10か国があらたに加盟し、拡大したEUの政治的枠組みの基本となるEU憲法が、EUの首脳会議で採択されました。



EUの東方拡大 2007年にはさらに東方のブルガリアとルーマニアの加盟がめまれています。こうして、EUは総人口4億5千万、GDPは9.2兆ユーロとなり世界最大の経済圏となります。